

都民連だより

全国
大会
特集号

平成29年10月
(第53巻2号)

特集 民生委員制度創設100周年記念 全国民生委員児童委員大会

- 写真でつづる全国大会1日目 ●全国大会2日目 テーマ別研修I～VI
- 応援委員の活躍 ●子ども応援募金贈呈 ●編集後記

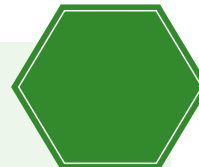


民生委員制度の源である岡山県「済世顧問制度」設置規程が公布された大正6（1917）年から、ちょうど100年にあたる今年。全国で活動する民生児童委員が一堂に会し、これまでの100年の歴史を振り返り、その原点、そして多くの先達の思いを再確認するとともに、委員活動の一層の充実、発展に向け、思いを新たにする機会として、7月9日～10日、全国民生委員児童委員大会が東京で開催されました。

主催者の一員として迎えた本大会では、1日目は東京ビッグサイト（江東区）で天皇皇后両陛下の御臨席を賜り式典・記念講演が、2日目は6会場に分かれてテーマ別研修が、北は北海道から南は沖縄県まで全国の民生児童委員1万人とともに盛大に執り行われました。

本号は、その特集号として、大会の様子をお伝え致します。





2017年10月
10月

10月



10月



10月



4Q

10月



10月

10月



10月

10月



10月

応援委員の活躍



Welcome to Tokyoと書かれたベストで迎えました。



最後の一人が帰るまで、お見送りをさせていただきました。



2日間で延べ717人の応援委員の方にご協力いただきました。「参加者からありがとうと言われるとうれしい」と、楽しみながら業務にあたる姿が印象的でした。暑さに負けず、積極的にお声掛けくださる、その笑顔が大会を支えてくださいました。応援委員の皆さま、ありがとうございました。

8月、本会役員が、岩手県・宮城県・福島県へ子ども応援募金をお届けしました。募金活動は昨年11月末で収束したため、募金の残額すべてを均等に寄附。募金活動は終わりますが、東京の民生児童委員として今後も被災地に心を寄せ続けていく思いを新たにしました。これまでのご協力に、心より感謝申し上げます。

子ども応援募金贈呈

本会顧問の大澤義行氏が7月13日に逝去されました（享年83歳）。昭和45年委嘱後、平成7年本会会長に就任。平成14年からは全民児連会長も務め、平成19年の退任まで永らく東京と全国双方の活動を牽引されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

訃報

編集委員

小田島真理子（千代田区） 田中 千津子（文京区）
山内 壽子（品川区） 安井 敦子（豊島区）
宮本 勝男（足立区） 五辺 博子（狛江市）
石川 謙一（府中市） 森田 節子（清瀬市）
北村 実（昭島市）

編集協力

池永 和子
（都民連副会長：広報担当）

編集後記

今までは真面目な読者ではなかった都民連だよりでしたが、編集会議に参加してみて、ビックリ。編集委員の熱心な討論によりできていることを知り反省しきり。皆さんのいろんなお話を聞かせていただき、ひたすら勉強です。

なにより100周年という節目の年にすばらしい編集委員の仲間に入れていただいたことに感謝しています。

やまうち としこ
山内 壽子

発行

東京都民生児童委員連合会
〒162-0823
新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
TEL: 03 (3235) 1163 FAX: 03 (3235) 1169
E-mail: tominren@tcsv.tvac.or.jp
年4回発行 印刷：株式会社トライ